

劇あそび

公益社団法人 日本児童青少年演劇協会
「劇あそび勉強会」
〒102-0085 東京都千代田区六番町13-4 浅松ビル 2A
TEL03-5212-4771 FAX03-5212-4772 事務局
E-mail: jidogeki@jcyta.or.jp
編集・発行 加藤早恵

復刊No. 216 (2024年10月) 題字 養田正治

劇あそび勉強会 2024年9月21日 記録

参加者：秋野紗良 伊藤聡子 太田佳代 大場美保 落合眞衣 加藤早恵 菊池里枝 栗原遥香
遠山欣子 長嶺友梨奈 橋本知子 林久博 松下有希 山田佳奈子 蒔田敏雄 (計15名)

2024年度 勉強会新年度スタートにあたって 発表者 加藤早恵さん

2024年8月に開催された、第55回幼児の劇あそび夏季講習会の報告と、この講習会の元となる、劇あそび勉強会。その歴史を振り返りながら、今日に至るまでの繋がってきた『劇あそび』のことを話しました。紙面の都合で詳細はお伝えできませんが、この会の初代代表落合聡三郎先生、2代目代表養田正治先生のことを中心に、スタートの挨拶にかえてお伝えしました。

子どもたちが面白がって、夢中になってあそぶ姿がある保育。子どもたちが真ん中にある、質の高い保育を、劇あそびを通して学び、深めていけたらいいなと思います。

どうぞ、月一回の劇あそび勉強会に、これからみなさんご参加ください。そして、私たち自身が楽しんで劇あそびの力で、子どもたちの未来を明るくしましょう！

子どもと作る劇あそび

『みのりだぬき、海へいく』

絵本『ばけタクシー』(藤重ヒカル作 福音館書店)を素材に 発表者 秋野紗良さん

夏季講習会の2日目、『劇あそびで発表会』(実技講座)の中で、秋野さんに子どもたちと作る劇あそびの実践報告をしていただきました。これは、昨年度、年長組で3学期に参観で保護者にお見せした、劇あそびを子どもたちと創っていった保育の報告です。

年長児としては、全体的に幼さが見られるクラス。でも、素直さも持ち合わせているので、きっかけさえあれば一致団結できるクラスである。また、歌とダンスが好きなので、そのあたりの活動をきっかけとしながら(保育者がタネをまく)『お母さんたちに見せたい劇あそび』を楽しんできたそうです。

秋野さんは子どもたちの強みと弱みを見極め、2学期までの経験から、子どもたちが興味をもったテーマを掘り下げていたり、挑戦したい遊びや活動に取り組んだりして、「できるようになりたい！」という気持ちを養うような保育を心掛けていきます。この経験の積み重ねから、子どもたちが興味をもった絵本を素材に、保育者と子どもたちが、創作劇あそびに取り組んでいきました。

参観という発表を通して、一人一人の子どもたちの変化についても話がありました。

- ・シャイな男の子。どちらかというと自信がなく、周りに流されやすい。でもリーダー的な存在になれる力を秘めている。そんなH君が、『ヤドカリ役』にはまり、なりきり、全力で表現する姿を見せ、周囲の友だちにも良い影響を与えた。
- ・自信がなくて、困ったことがあると泣き出して止まらなくなるEちゃん。この劇に出てくる歌に合わせて、ダンスの振り付けを考え、それが受け入れられ、発表にも取り入れられたことで、大きな自信につながった。
- ・全体として、できなかったことに取り組み、できるようになったという自信が子どもたちの心を満たしていった。話し合い、力を合わせて一つのものを作り上げる力が養われた。

という、子どもたちが劇あそびを通して培ってきたもの、変容が見られたとの報告でした。

参加者の感想

- ・保育というものは点と点をつなげているのではなく、いろいろな面(多面的)で考えていくものとしていきたい。そのような観点でみると、この発表は保育が包括的にこなわれ、広がり、なおかつ一人一人の成育にも合わせているという素晴らしいものと感じた。
 - ・年少組の担任をしているが、リトミック的な表現活動はしていても、3年でそこまでいくのかなあと考えた。でも、少しでもそうやって欲しいと、自分の保育を工夫していこうと励まされた。
- 等、他にもたくさんの感想が寄せられましたが、何よりも子どもたちの発表の動画が楽しい！生き生きとした子どもたちの表情や、思わず発せられるセリフの数々。即興劇を見ているような場面や、しつかりと(子どもたちなりに)練習してきた合奏。その様子が、子どもたちが得てきたものを如実に語っていました。

実技講座②『1・2歳からの表現あそび・劇あそび』ダイジェスト

発表者 遠山欣子さん/橋本知子さん

講習会実技講座より、勉強会古参のメンバー姉妹！最強の劇あそび姉妹のダイジェストです。

実技講座②『1・2歳からの表現あそび・劇あそび』で実施した〈あそびのタネ〉をいくつか実践。その語りの小気味の良さ、あそびの流れの緻密な演出。劇あそびのひろばを主催している遠山さん、小学校の先生、橋本さんならではの〈あそびの気づき〉満載の劇あそびでした。

「まねっこあそび」「手あそび」「からだをいっぱいつかって！」というレジメの流れも最高で、小さな子どもたちやそのおうちの人たちが、無理なく、自然に遊びの世界に誘われていく様子を、短時間で見たが、参加者たちは大笑いしながら体得できたのではないのでしょうか。

後日勤務園で、この日参加していた年少組担任の秋野さんが早速『なかよしジャンプ』を実践しているのを見る機会がありました。初めてのあそび(活動)なのに、あつという間に子どもたちが引き込まれ、笑顔になっていったのが印象的でした。曲に合わせてジャンプするだけ！というキーワード。でもでも、ものすごく深いあそびの哲学があるような印象でした(その様子をお見せできないのが残念です)。



日常の何気ない『おもしろい』を見つけ、どんなことでも、楽しいあそびにしてしまうお二人の〈劇あそび力〉を満喫できた勉強会でした。

子どもたちが虜になるのも頷けます。そして親子で楽しめる劇あそびの力が、育児にも活かされていくであろうことも納得です！

また、近いうちにその世界に浸りたいなあ…。 (文責 加藤)



次回の劇あそび勉強会は・・・

◆期日 10月19日(土) 18時~20時15分

◆参加費 500円

◆場所 東京 YMCA 山手コミュニティーセンター 204教室(2階)(新宿区西早稲田2-18-12)

最寄駅 JR・東西線・西武新宿線：高田馬場駅 徒歩7分 都電荒川線：面影橋 徒歩7分

副都心線：西早稲田駅 徒歩3分

◆内容 ~講習会ダイジェスト~

*実技講座①『絵本からの劇あそび』

発表者 菊池里枝さん

*全体講座『子どもも保育者も笑顔になる劇あそび』・実技講座④『劇あそびで発表会』

発表者 尾根秀樹さん